

1 月ロータリークラブでは、折り返し点として、一般的に上半期の棚卸しの「クラブ協議会」が行われます。Eクラブでは、諸般の事情もあって Facebook を利用して、意見の集約を図っておりますが、ガバナーエレクトが国際協議会で、国際ロータリー会長エレクトの第一声を聞いている頃でしょう。帰国されると、それを受けて次年度ガバナー補佐会議や地区チーム研修に会長エレクトの PETS が開催されますが、その後、早くクラブ協議会を持ちたいものです。

昨年クラブ認証状伝達式を経て、私たちチャーターメンバーはEクラブ会員となりましたが、ロータリークラブ会員になるということと、ロータリアンになるということとは、ちょっと違うと思うのです。

会費は払いました。ロータリーの友は定期購読しています。例会には出席しています。この3大義務を果たしたからと言って、ロータリアンだと胸張って言えるでしょうか？

3 月14日に宮崎県IMが宮崎市で開催されます。かつては新人会員のための勉強のチャンスと捉えて3年未満会員は義務出席と言われてきたものです。それが全 員義務参加となりました。End Polio Nowも形は全員積極的参加になりました。勿論一連の会議を経てのことですから～～容認するのが当然ですし、自己研鑽の自覚を持って、ロータリーのあらゆる会合に参加してみましょう。また自分を磨くという倫理的な目的を持って参加を続けていくうちにロータリアンらしくなっていくものです。

然し～～だんだん義務参加が増えてくるような気がします。主催者が安易に義務義務と言わなければ、またそのようにしなければ、参加数が読めなくて、経済的に成功が期待できなくなったという、事情も有るのでしょう。中にはRIが地区が分区が勝手にやっているから と理解しようとしめない会員がいることも事実です。そのような活動に、まず参加することからロータリアンが作られて行くのだ～と理解いたしましょう。

わがEクラブは、献血運動もポリオ募金も実体験として、一部会員によって実行されました。素晴らしい社会奉仕活動・広報活動と言えます。一箇所に集うことが難しいことではありながら、マスコミに取り上げられましたし、立派なロータリー実践でした。

参加した会員の皆がロータリアンとしての満足があったと思います。職業奉仕も社会奉仕も倫理運動の発露だと認識出来れば、ロータリアンとしてのバッチも光って参ります。

「論語」に、斎の国の王が孔子に「政」(まつりごと)を聞く場面があります。その問いに対して、孔子は「君、君たり、臣、臣たり、父、父たり、子、子たり」と答えました。つまり、君主は君主らしく、役人は役人らしく、父親は父親らしく、子供は子供らしく生きていくように教え導くことだと説きました。これに王は深く納得し、若し君主が君主らしくなく、役人が役人らしくなく、父親が父親らしくなく、子供が子供らしくなければ、たとえ米があつたとしても、私は安んじて食べることが できようか、と応じました。

らしくあることは、簡単なようですが、最も難しいことかもしれません。ロータリアンらしくありたいものです。

「らしく」と言う物差しを自分の物差しとしましょう。(雑誌・致知 1 月参考)